

# 「ため池」ができたのはいつごろ？

古墳こふんがつくられ始めた4世紀ごろから、ため池もつくるようになりました。古墳もため池も、大工事によつてます。鉄製てつせいの道具と多くの人の手、そしてそれらを指示しじ力の強い者がいるからできたのです。

## ため池がつくった社会

ため池から、水をどこに、どれだけ配分するかはたいへんな問題でした。ため池から水を引いている地域ちいきで、さまざまなルールができ、ため池を中心にひとつの社会ができあがっていきました。



## 水を守る仕事もできた

水を管理する仕事もできてきて、ため池の水を出し入れする池守いけもり、水路の分かれる所には股守またもりという人もできました。そして、そのひとたちをまとめて「水守みずもり」とよんでいました。

今では、水利組合すいりや土地改良区かいりょうくの人たちが水を管理し、ため池を守っています。

